

バイエルン州議会と マキシミリアノム



バイエルン 州議会

議員

「州議会はバイエルン州民である 180 の議員から構成される。議員は州民の代表であり、複数の政党から成る。議員は自己の良心にのみ従い、いかなる指示にも拘束されない。」（バイエルン憲法〔以下 BV〕 第 13 条）

バイエルン州議会議員は、選挙権を有する選挙投票区内の公民により行われる普通、平等、直接、秘密の投票により修正比例代表の原則に従って選出され、その任期は 5 年となっています。

州議会議長

議長は議会の事務を統理し、あらゆる法律行為と係争において州議会を代表します。議長は議会建築物内において議会不可侵権と警察権を行使します。議長は州議会総会を統率し、州議会公務の監督権と州のデータ保護の任務遂行義務を行使します。

州議会議長アロイス・グリュック（中央）

副議長バーバラ・シュタム、

ペーター・パウル・ガントナー教授



副議長

副議長は、議長の職務遂行を補佐します。

2 つの重要な委員会：

運営委員会と長老会議

運営委員会は議長と両副議長、書記で構成されます。書記（ここでいう書記は速記者のことではなく議員です）は、州議会総会を統率する議長の公務執行を補佐します。運営委員会は、州議会行政業務の審議・決議機関です。運営委員会は特に州議会予算を審議し、土木工事や、州議会建築物での空間配分を決議し、州議会官公庁職員の人事業務を執り行います。

長老会議には州議会議長、両副議長のほか、原則として各党の委員長と代表が属します。長老会議は、任務遂行に当たり議長を補佐し、議会総会の会期と議事日程を決定し、州議会・議会事務の内部的問題を調整します。「長老」という言葉と会議を構成する委員の実際年齢とはなんの関係もありません。

議会総会（本会議）

総会中は、議員はバイエルン州議会の議会業務に専念します。最初の会議で議長と副議長が選出され、新選の州議会が発足します。

総会が開会されるのは本会議場です。ここで専門委員会の討議が行われ、最終的な決議が行われます。また、法案審議と議員により提出された提案に対する審議が行われます。

直接本会議に提出された大型の案件（質疑と呼ばれます）と緊急案件は、重要な議題として州議会で審議されます。

本会議では、州議会の統制機能と関連して選出される議員からの口頭質問に州政府が答えます。議会総会は原則公開で行われます。速記係が一語一句に忠実な議事録を作成します。議事録は公式に州議会議事録として発行される上、www.bayern.landtag.de にて公開されます。



バイエルン州議会の会議

党派

党派は、バイエルン州議会においてそれぞれの権利と義務を与えられ、バイエルン州議会議員と提携しています。党派の主な任務は政策決定です。見解の発表、議案作成を行い、議会内、または委員会に対する党派としての立場を定めます。

第 15 期バイエルン州議会（2003～2008）では、3 つの党派が代表しています。ドイツキリスト教社会同盟（CSU）が 124 議席、ドイツ社会民主党（SPD）が 41 議席、90 年連合／緑の党が 15 議席を確保しています。SPD と 90 年連合／緑の党が野党、CDU が与党として政権を担っています。

委員会

議会任期に渡り、特定の専門分野（財政問題、国内治安、経済、社会、環境、教育、文化）に従事する常任委員会が設けられます。12 の委員会は、本会議の審議と決議の準備を行います。その他、市民から提出された請願書や苦情を審議し、通例として最終的な決定を下します。

委員会で開かれる会議は原則公開です。委員会の人数と構成は、各党派の勢力に応じて州議会が決定します。委員の指名および解任は委員会が行います。同様なものに、憲法保護の目的で州議会業務の監視を行う議会監査委員会があります。

総委員の 5 分の 1 以上による要求
があった場合、州議会は調査委員
会を設置しなければなりません。
さらに州議会は、BV 第 25 条 a
に基づき、バイエルン共和国管轄
領域に渡る大規模で重要な案件の
決定準備を行う専門調査委員会を
設置することができます。

メディアの関心は高い



バイエルン 州議会の任務

バイエルン州議会には 4 つの重要な任務があります。

1. 組閣

第 1 回集会から遅くとも 1 週間以内に州首相が選出されます (BV 第 44 条第 1 項)。選出は、議員投票による多数決で決定されます。州政府議員の任命および罷免は州首相により行われます。これに加



州首相の宣誓

えて、行政官庁の数や管轄領域の決定には州議会の同意が必要です。州政府は州首相および最高 17 名の政務次官と次官により構成されます (BV 第 43 条第 2 項)。

2. 立法

a) 州議会、州政府および住民 (住民請願の形式を取る。BV 第 74 条

第 1 項から第 4 項) は、法案提出の権利を有しています (BV 第 71 条)。州議会において、法案は各議員または党派により提出されます。

b) 法案は、住民表決によらない限り、州議会により審議されます。州議会が審議と決議を行う法案のうち、最も重要となるのは財政法です。財政法は、州政府および州行政機関の財政業務の基本となるものです。バイエルン共和国の年間財政予算総額は約 350 億ユーロです。

c) バイエルン州議会が公布する法令は、ドイツ連邦共和国基本法およびバイエルン憲法に準拠します。

3. 監察

州議会の主要な任務に、州政府およびその管轄下の行政機関の監察があります。州議会およびその委員会は、BV 第 24 条に基づき、監察目的による州首相、各省大臣および政務次官の召喚を要求できます。対して、州政府議員、および議員により指名を受けた代理人には、州議会および委員会のあらゆる会議への参加が許可されており、議事日程に含まれているかいない

かにかかわらず審議中の発言権が認められています。召喚権に属する権利として、質問と情報請求権があります。予算監察においては、州政府の財政状況や会計報告の監査が行われます。

監察には請願権も重要になってきます。陳情や苦情を州議会に提出する権利については、いかなる人もこの権利を有しています。議会は、提出された請願書を通じて時事問題、特に法執行の厳格度や疑義に関する一般認識の全体像をつかみます。

4. 委員会内の協力

バイエルン憲法裁判所の裁判官は、州議会により選出されます。

州議会は州政府の提案を受け、バイエルン最高会計検査院の院長を選出します。

同様に、州情報保護委員も州政府の提案を受け州議会が選出します。

バイエルン州議会議員は特別規定により、放送評議会、メディア審議会、州文化遺産審議会、州スポーツ審議会、州衛生委員会、情報通信技術審議会、「バイエルン州財団」財団委員会、司法執行委員会に所属します。

委員会の会議



法令の成立

全法案は州議会の議長に提出されます。第 3 読会が提案されない限り、本会議の議題日程に組み込まれ 2 回に及び読会（法案審議）にて議題として取り上げられます。

第 1 読会

第 1 読会では、法案の基本原則についてのみ討議されます。修正動議はできません。法案拒否がなされなければ、所轄の委員会が引き継いで後処理を行います。

委員会

委員会は、所轄の委員会の管理の下法案を審議し、議決承認を本会議に提出します。

第 2 読会

第 2 読会では通常、一般討議が行われます。第 2 読会の終了までに修正動議を行うことができます。



採決

第 3 読会

特別な動議の場合のみ開かれます。第 2 読会の決定に基づきます。

最終表決

読会終了後、法案の通過または否決について表決が行われます。

公布と発効

憲法に準拠し表決を通過した法案は、州首相まで送達され署名がなされます。数週間を経て期限内にバイエルン法令・通達官報にて州首相の名で公布されます。いかなる法令も、発効期日をもって効力が発生します。

ドイツ連邦共和国における バイエルン州

連邦原則に基づく国家においては、各州の多様性や、地域性を尊重した独自の政治形成の成果が公正に評価されますが、ドイツの連邦主義ではその有効性が実証されているといえるでしょう。連邦主義は1945 年以降の国家再建における成果の基盤となり、また EU におけるドイツ連邦共和国の発展を促進しています。

連邦と州のあいだの立法権の区分

第2 次世界大戦後、まず連邦州が建設されました。連邦州は、それぞれ独自の国家特質を持っています。基本法について各連邦州の同意を得、ドイツ連邦共和国が建国されました。

連邦憲法（基本法・憲法第 70 条から第 75 条）により、連邦と州のあいだの立法上の権限が区分されています。権限区分の定義は以下の通りです。

連邦の独占的立法権：州は、連邦法により権限を与えられた場合限り、以下のような領域において立法権を行使することができます。

- 外交
- 国防
- 通貨
- 関税
- 航空運輸
- 国際犯罪撲滅
- 憲法保護

競合的立法権：州は、連邦が行使しない場合に限り、以下のような領域において立法権を行使することができます。

- 司法権（民法、刑法、刑の執行）
- 外国人の滞在許可と居住権
- 経済法と労働法
- 交通
- 保健衛生
- 環境保護

以下のような領域においては、州が独自に立法権を行使できます。

- 文化と教育
- 自治体
- 警察
- 建築法規
- 放送とニューメディア

連邦は、州立法の枠となる規定（大綱的法規）を発布する権限を有しています。大学教育の諸原則、報道に関する諸法規、環境保護、狩猟、住民登録制度、身分証明などがこれらに該当します。連邦の権限は、一般的な指導要綱を示すことのみに限られています。

連邦と州の財源配分

連邦制度が正しく機能するためには、連邦と州とで財源が適切に配分され、どちらにも税金による財源が独自に確保されていることが重要です。税収は区分制度により連邦あるいは州のいずれかに配分されます。石油税やたばこ税などの主要な消費税は連邦、自動車税、不動産税、相続税は州の権限となります。さらに、給与所得税、売上税、法人税などの共同租税も連邦と州のあいだで分割配分されます。

マキシミリアノイムー バイエルン州議会 の所在地

研究財団

マキシミリアノイムは、マキシミリアノイム奨学財団が所有する建物であり、バイエルン州議会は当財団から賃借して利用しています。

バイエルン王マキシミリアン 2 世（1811－1864）は、皇太子時代から「君主制国家精神を高揚させる」ために、「ミュンヘン市内を流れるイーザル川河岸の丘（イーザルヘーエ）に国立大型建築物」を建設する構想を描いていました。その後時を待たずして「バイエルンの優秀な若者を身分を問わず対象とし、高度な国務課題を解決するために必要なあらゆる自然・人文科学教育を助成する」ことを目的とした施設「アテナの神殿」のアイディアが生まれました。マキシミリアン 2 世は建築物の落成を祝うことなく亡くなり、息子であり王位継承者であったルートヴィッヒ 2 世が財団としての法務形態を確立しました。歴史絵画や大理石の胸像が保管されている美術館およびマキシミリアノイムは、1876 年の証書に従い、現在も当財団により所有されています。1918



マキシミアノイム創設者、
バイエルン公マキシミアン 2 世
石造ホールにあるユリウス・
ツィマーマンによる油絵

年に君主制が廃止されたあとは、
ルートヴィッヒ・マキシミアン・
ミュンヘン大学がマキシミアノイ
ムの後援団体となり今日まで続い
ています。

「ヴィッテルスバッハ記念基金」は、
1980 年以来バイエルン州の高校を
卒業した男子学生 28 名と優秀な女
子学生 12 名に奨学金を給付してい
ます。財団設立以来、現在までに
800 名以上の学生が財団の恩恵に
浴しています。奨学金の給付をうけ
た「マキシミアン生」には、バイ
エルン州首相を務めたオイゲン・
R・フォン・クリニング（1922 -

1924）、フランツ・ヨーゼフ・シュ
トラウス（1878 - 1988）、物理学
者のヴェルナー・ハイゼンベルグな
どがいます。

建築物

設計と建設の歩み

王位継承（1848）後、マキシミ
リアン 2 世はつねづね構想していた
都市計画の実現に取りかかります。
マキシミアンは、王位継承者の身
であった 1830 年までにはすでに、
新しい通りを建設し市街地を東方に
向けて拡大する計画を建てていたの
です。このような計画があったとこ
ろに、建築家フリードリッヒ・ビュ
ルクラインがマキシミアン 2 世
に提出した「ミュンヘン美化構想」
（1851）が採択され、都市計画が具
体的に進められました。「ミュンヘ
ン美化構想」では、ハイドハイゼン
地域とミュンヘン旧市街を通りで結
び、「フォーラム」と呼ばれる公共
広場、橋、「アクロポリス」が計画
されていました。1853 年、全長約
1200 メートルの「ノイエ・シュト
ラーセ（新通り）」の建設から計画
が着手され、1858 年には「マキシ
ミアン・シュトラッセ」と公式に
命名されました。1853 年には、市
の建設委員会によりイーゼル川とプ

ラーター島の間にアーノルド・ツェネッティ橋が架設されました。ミュンヘンに新しく生まれた華麗な通りの景観を統一するため、マキシミアン 2 世はファサードの見本を建築家に設計させます。ファサードのデザインは、王によって指定された新しい様式「マキシミアン様式」にて統一されました。アングロサク

建築設計図の製作」を競う国際建築コンクール開催を決定します。最終的には、都市美化構想計画を通してすでにその才能が認められており、王が抱くイメージを一番良く理解していたフリードリッヒ・ビュルクライン（1813–1872）に設計が委ねられることとなりました。

1857 年 10 月 5 日には礎石が据



バイエルン州議会の所在地
マキシミアノイム

ソンの影響を受けた新ゴシック様式を基に、当時の最新建築技術と歴史的芸術の粋が融合されました。

マキシミアン・シュトラーセの建築計画と平行して、マキシミアノイム建設計画も進められました。マキシミアン 2 世は 1850 年に「教育施設としての使用のための建

えられましたが、急死する直前の 1864 年 2 月、マキシミアン 2 世は強まる批判に設計修正を余儀なくされます。西側中央翼の建設はすでに 2 階部分まで進んでいましたが、円柱様式が変更され、尖塔アーチはネオルネッサンス様式アーチへ変更されました。こうして、最初で最後のマキシミアン様式の建築物が建築史にその名を残すことになっ



マキシミリアン橋からアテネ神と
マキシミリアノイムを望む

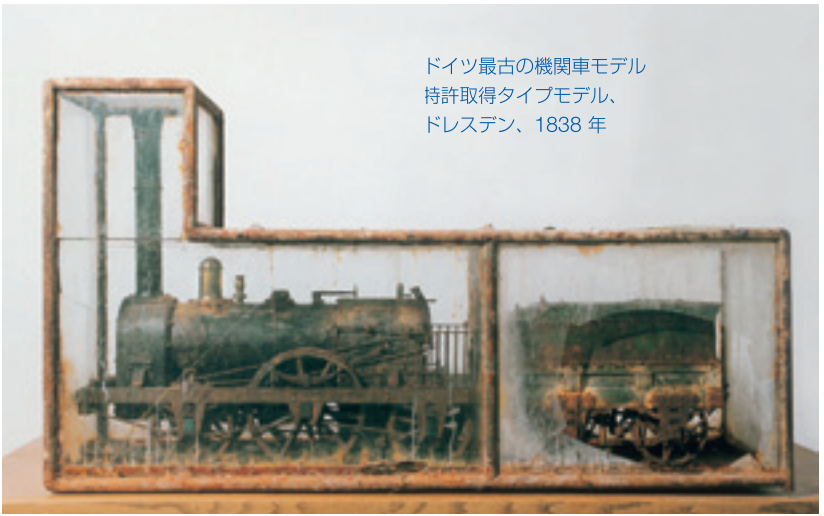
たのです。マキシミリアノイムは、1874年に落成しました。1918年までのマキシミリアノイムには、研究財団、「歴史美術館」に加え、王室小姓学校が設置されていました。画廊ではミュンヘン美術展覧会が第2次世界大戦終戦間近まで催されており、その際には、回廊の「ミュンヘナー（いち）の高台にあるカフェ」がすばらしい長めで人気を博しました。しかしながらその後、空襲により建物の3分の2が破壊されてしまいます。幸運にも、1949年にバイエルン州議会所在地としてマキシミリアノイムが選ばれ、美術館として使用されていた部分が修復されることになりました。議会のスペース不足を解消するた

め、1958-59年、1964-65年には事務室および会議ホールとして東翼が増築されました。1933年には地下駐車場が整備され、さらに2翼部が1994年10月までに増築されました。1998年には地下駐車場と旧館を結ぶ工事に着工しましたが、その工事中にマキシミリアノイ

1994年の増築部分



ドイツ最古の機関車モデル
持許取得タイプモデル、
ドレスデン、1838 年



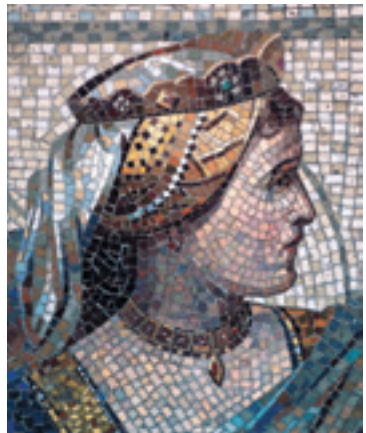
ムの礎石が発見されています。工事中に発掘された金貨、財団を設立した王室夫婦の肖像、機関車のモデルなどがマキシミリアノイム内の石造ホールに展示されています。

建物外観と壁画彫刻

イーゼル川東岸に君臨する水平にのびる大きな建物。たっぷりと余裕のある車寄せが設置された前庭からの光景はとても印象的です。高台にあり、平面的にデザインされた建物正面部分は、わずかにくぼんだ中央部と直線的な 2 つの側翼で構成されています。1 階部分と 2 階部分に一様に配置された円形アーチは、3 階建ての吹き抜け塔により境界付けられています。西側ファサードの表面に施された絵画がこの建物が教育施設として建設されたことを物語っ

ています。中央リザリートのモザイク画では、バイエルン王家の慈善事業と信仰への献身を顕示する目的で王ルートヴィッヒ 4 世により創設されたエタル財団が描かれています。その横には、インゴシュタルト

西側ファサード中央リザリートに施された「バイエルン王ルートヴィッヒにより創設されたエタル財団」モザイク画拡大部分





写真上：孔子、キケロ、
ライプニッツの胸像

大学開講と、ヴァルトブルクの歌合戦での詩人 W・フォン・エッシェンバッハの優勝の様子が描かれ、バイエルンでは早くから学問と芸術が盛んであったことを示しています。北側リザリートのモザイク画では、パヴィアにてヴィッテルスバッハ家の家内条約が締結される様子が描かれています。モザイクの隣に示されている科学実験道具は、階下のホールに展示されているフレスコ画シリーズを示唆しています。向かい合う南側リザリートには、戦術を示すも

写真下：西側ファサード中央リザリートに施された「バイエルン王ルートヴィヒにより創設されたエタル財団」モザイク画部分



のとしてトルコからウィーンを解放する様子が描かれています。並べられた戦利品も、部屋に展示されているシリーズの一部です。階下の回廊には、「慈善家、発明家、賢人、作家、政治家、軍司令官」（北側：ホーマーからアッシジのフランツまで、南側：グスタフ 2 世アドルフからピタゴラスまで）をかたどる 22 の胸像が並んで展示されています。

内部建築と内装

西向きの表玄関からマキシミアノイムに入場し、ロビー内に入ります。階段上方に目を向けると、Chieming（キーミン）市より贈られた後期ゴシック様式の壮大なキリスト十字架像を歩廊に見つけることができます。階段は中ほどで 2 つに分かれ、石



本会議場の改築完成予想図

階段ホールと回廊
後期ゴシック様式のキリスト十字架像





造ホールの吹き抜け回廊へとつながります。回廊の壁には、ユリウス・ツィーママンによる若き王マキシミリアン 2 世の肖像画と、モーリッツ・ケラーホーベンによる王マキシミリアン 1 世ヨーゼフの肖像画に並び、巨大なカンバス画が 2 つ掛けられています。南側の作品は、フリードリッヒ・カウルバッハによる「カール大帝の戴冠式」（1861）、北側の作品は、アウグスト・フォン・クレーリンクによる「バイエルン王ルートヴィッヒの戴冠式」（1859）です。これらの絵画は、王マキシミリアン 2 世の命を受け、世界史の

重要な出来事（アダムとイブの墮罪からライプチヒの諸国民戦争まで）が描かれた絵画コレクション 30 点の一部です。

石造ホールへ続く 4 つの入り口のうち、東南玄関は議員席が半円状に配置されたバイエルン州議会本会議場へと続いています。2004 年より本会議場の改築工事が開始されました。2005 年の終わり頃から新本会議場にて議会が開催される予定です。東北の玄関は、上院ホールと呼ばれるホールに続いています。このホールはかつて、バイエルン州上院（バイエルン州議会の「第 2 議院」）の

会議ホールとして使用されていました。バイエルン州上院は、住民表決により 2000 年 1 月を持って廃止されました。

石造ホールの北西玄関は、議長の廊下と呼ばれる北の回廊に続いています。議長の廊下という名は、歴代の州議会議長の肖像画が飾られていることに由来します。廊下は、州議会

長老会議や祝祭レセプションなどに利用されています。中央の部屋の東壁に飾られているのは、エンゲルベルト・ザイベルツにより 1864 年の設計修正より前に描かれたフレスコ画で、新ゴシック様式のマキシミリアノイムをうかがい知ることができます。フレスコ画には、バイエルンの芸術・学術界の著名人とアレキ

エンゲルベルト・ザイベルツによる
フレスコ画のある会議室





ヴァルトブルクの歌合戦、図書閲覧室におかれたカール・テオドール・フォン・ピロティによる油絵

サンダー・フォン・フンボルトが描かれています。その他の壁面には、ゲオルグ・ヒルテンシュペルガーにより描かれた6人の「慈善家」と「発明家」の立像画が何点か飾られています。

これらの絵画は、回廊と栄誉の殿堂に並ぶ胸像シリーズを補強するために作製されました。現在、栄誉の殿堂にはフィリップ・フォルツによる歴史画「ハインリヒ獅子公によるフリードリッヒ1世（バルバロッサ王）の屈辱」が展示されています。栄誉の殿堂の隣の部屋は議員の図書閲覧室として使用されており、会議

場に対面しています。図書閲覧室の東側には、ウィーン会議時代有力だった政治家たちによる会議の様子が描かれたフレスコ画が描かれていましたが、消失してしまいました。現在そこには、カール・テオドール・フォン・ピロティによるヴァルトブルクの歌合戦の様子を描いた油絵スケッチがかけられています。その他の壁には、6人のヨーロッパの司令官と政治家を描いたフリードリッヒ・ペヒトによる立像画が飾られています。



マキシミリアノイム西側翼の回廊と
天井フレスコ装飾



発行者：

バイエルン州議会 — 州議会管理局

Bayerischer Landtag – Landtagsamt,
Maximilianeum, 81627 München

写真：Rolf Poss, Siegsdorf;

印刷：ESTA-DRUCK GMBH, Polling